



「東京地本城北地区隊を励ます会」に参加

自衛隊東京地方協力本部城北地区隊（隊長 小竹2陸佐）は6月12日、池袋西口ホテルメトロポリタンで催された「東京地本城北地区隊を励ます会」に隊として参加した。

本会は、東京地本城北協力会、城北地区募集相談員連絡協議会、東京都自衛隊家族会城北地区協議会の3団体が、東京地本城北地区隊を応援し、団結のさらなる強化をねらいとして、毎年3団体の共催により開催されてきたものである。

会に先立つて東京地本長 横田陸将補（当時）の防衛講話が行われ、聴講者約80名が講話「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する基本方針」について深く耳を傾け、募集への協力の気持ちを新たにした。

講話の後、「励ます会」となり冒頭において主催者代表の城北協力会 鈴木会長が挨拶を述べ、来賓として本部長からの挨拶の後、城北地区募集連絡協議会佐原会長の乾杯により会が始まった。

開会後は、小竹隊長と城北各所長（豊島・北・練馬・高円寺）による開催への謝辞と今年度の募集に対する意気込みを述べて、城北地区隊として目標新たに前向きに粘り強く活動していく姿勢を示した。

会も中盤に差し掛かり、地区隊先任の國京伸浩陸曹長が、昨年度の野球モノマネ「國ツチロー」から一転、ひげダンスならぬ「國ダンス」を披露し、「募集対象者獲得」の意気込みで5m以上離れた場所から投げられた果物を串で取る芸を披露するとともに、本部長を壇上に招いて共に果物刺しを行ったところから余興が始まり、楽器演奏、コントなどで場を盛り上げた。

特に豊島出張所が実施した募集相談員とのジェスチャーゲームでは、本部長だけでなく、同じく来賓で参加いただいている北橋副本部長も参加され、地区隊のみならず東京地本としての明るく楽しく前向きに、人を幸せにさせる広報官の総合人間力を協力団体の皆様にお見せすることが出来た。

また、余興の最後には、昭和四十年代当時の東京地連の広報官（島田友男氏）が作詞した「俺は男だ募集マン」を城北地区隊全員で歌い上げ、盛り上がりは最高潮に達した。

最後は、自衛隊家族会城北協議会 佐竹会長の三本締めによる心地よい手拍子により終幕となった。

城北地区隊は、これからも協力者と共に歩み、前向きに粘り強く責務を全うしていく。

城北地区隊は、これからも協力者と共に歩み、前向きに粘り強く責務を全うしていく。



ラーメンスクエアでイベントを初開催

自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は6月14日、JR立川駅南口に直結する複合商業施設「アレアレア2」内のラーメンスクエアにおいて、海上自衛隊東京音楽隊の協力のもと広報イベントを開催した。

立川出張所は、迷彩服等の試着体験やVR体験、トラックゲーム等を展開し、来場者が楽しみながら自衛官と交流する場を設定し、イベント進行の合間に音楽隊によるミニコンサートを組み込んだ。海上自衛隊東京音楽隊は、今年の2月に活動拠点を世田谷区から立川市へ移転し、立川市街地での初めてのお披露目の場となった。

音楽隊のミニコンサートは、1回30分の演奏を計3回実施し、各回で演奏曲目を変える工夫により、幅広い年代の来場者が長時間にわたり楽しめる内容となった。また、ステージ横に記念撮影用のタペストリーを設置し、演奏服を試着して記念撮影する来場者が絶えなかった。

立川出張所のイベントには、毎回、自衛官募集相談員等の協力も得ており、今回も試着体験やミニゲーム等の運営補助に加え、来場者に自衛隊に関する豆知識を紹介するなど、イベント全体の盛り上げに大きく貢献いただいた。

立川出張所は、今後も部隊や協力者と連携のもと、自衛隊の魅力を伝える施策を展開し、幅広い層への理解浸透と関心喚起に努めていく。

立川出張所は、今後も部隊や協力者と連携のもと、自衛隊の魅力を伝える施策を展開し、幅広い層への理解浸透と関心喚起に努めていく。

立川出張所は、今後も部隊や協力者と連携のもと、自衛隊の魅力を伝える施策を展開し、幅広い層への理解浸透と関心喚起に努めていく。

